

事業名	みんなとワクワクたのしいね！！	
団体名	北茨城市更生保護女性会（北茨城市）	
連携・協働団体	北茨城市社会福祉課・健康づくり支援課・まちづくり協働課、北茨城市社会福祉協議会、市内小学校、私立幼稚園、北茨城市食生活改善推進連絡会	
事業のねらい	私たちが生きていく上で大切なことは何かと考えたときに「食・食すること」だと思い、食育を事業計画の柱とする。 幼児から高齢者までを巻き込み、三世代交流の楽しさを食育を通して体験する。	
活動の内容	<p><親子食育教室> 実施日 8月4日 保健センター 調理室 参加人数 46人（親 8人、子 24人、食改指導者 8人、更女 6人） 内 容 初めに紙芝居で食べることの大切さの説明の後、料理教室を行った。おにぎらずや焼きそばなどのお料理を作り、みんなでおいしくいただいた。アンケートには親子で一緒に作ると楽しくおいしく食べることができ、ピーマンを切るのが楽しかった、などの感想があった。</p> <p><三世代交流石岡小まつり> 実施日 10月31日 北茨城市立石岡小学校 参加人数 約300人 内 容 田植えから稲刈り収穫までの米づくり体験発表、手作業での脱穀体験、地域の人たちとのものづくり体験など、地域の人たちや高齢者の方々とのおふれあいを通じて体験した。アンケートには子どもたちは地域の方に見守られている、地域の温かさが伝わる、などの感想があった。</p> <p><親子サツマイモ掘り・食育講演会> 実施日 10月31日 私立誠之会幼稚園 参加人数 150人（講師：市健康づくり支援課 管理栄養士 阿部民子氏） 内 容 保護者を対象に「子どもの栄養と食生活」についての講演会を開催。朝食の大切さ、食事のリズムや生活習慣などを学んだ。講演の間、園児はサツマイモ掘りを体験し、沢山の芋を収穫した。講演会終了後は、更女会で用意したおにぎりなどをいただいた。アンケートには、食の大切さを実感した、家族での食事の大切さに気づいたなどの感想があった。</p>	
効果及び自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・更生保護女性会の活動を広めることができた ・「食・食すること」の大切さを考える機会になった ・子どもたちが元気になると地域も活性化されると感じた ・連携した団体との交流を図ることで更女会活動を考えるきっかけになった 	
問い合わせ先	北茨城市更生保護女性会 会長 緑川 紀子 〒319-1541 北茨城市磯原町磯原69-2 TEL 0293-42-0768	
活動の様子		